

1 テーマ 「貢献と信頼の好サイクルで地域と連携」

2 受賞の概要

千原台高校は、約10年前からの学校改革の1つとして、「地域に根ざした学校」を目標に地域との交流活動を地道に積み上げてきた。その結果、地域との親密な関係が生まれるとともに、生徒指導上の課題が多かった生徒たちも落ち着きを取り戻し学校の活性化にも繋がっていった。また、このような長年の地域との密接な関係は、昨年の熊本地震で本校が避難所となったときのスムーズな運営にも活かされたことなどが総合的評価されて「努力賞」の受賞となった。

3 本校と地域との交流状況

- ①家庭科の授業として、2年生全員がクラス単位で、地域在住のお母さん、赤ちゃん（0～3歳児）と交流している。（10年目）
- ②白羊保育園と定期的に交流し、本校の文化祭や千原台マーケットでは、園児の演奏発表などを実施している。（11年目）
- ③生徒会役員が中心となり、毎月1回、城西小学校正門での挨拶運動を小学生と合同で行っている。（11年目）
- ④井芹川クリーン作戦に、毎年多数の生徒が各部活動単位で参加協力している。（11年目）
- ⑤城下町（新町・古町）を中心とした調査研究活動、研究発表、まちづくりに関する企画・提案・イベント活動、販売実習、商品開発などを継続的に行い、昨年は地震後の復興にも貢献している。（11年目）
- ⑥地域商店街主催の「島崎サマーフェスティバル」へ運営スタッフとして毎年、50人程度協力している。（7年目）
- ⑦学校周辺の交通危険箇所を全職員が分担して、毎月1回、登下校時間に合わせて交通安全指導を行う。（11年目）
- ⑧2年生家庭科の授業の中で、地域の主婦の皆さんの協力で、郷土料理の調理講習会を実施している。主婦の中には、高齢者の方もおられ、料理を通じた地域の高齢者の方との交流にもなっている。（3年目）
- ⑨情報科生徒による「千原台マーケット」を開催している。昨年は、熊本地震復興も願い、12月に実施した。多くの地域住民が学校を訪れ、販売経費以外の売上金は、熊本城復元基金に寄付し、感謝状をいただいた。
- ⑩昨年度より、近隣のかがやきの森支援学校の児童・生徒を本校の体育大会や文化祭に招待し交流して交流している。

